

編集後記

この度、『川崎医療福祉学会誌』第33巻補冊号を皆様のお手元にお届けできることを心より喜ばしく思います。本号にご投稿くださいました先生方、本号の刊行にご尽力くださいました先生方に感謝申し上げます。

本号は、2023年8月25日（金）9:00～14:20に川崎医療福祉大学4603講義室で開催された教育シンポジウム「今、TEACCHの視点から共生の初等教科教育を考える」がもとになっています。教育シンポジウムは、川崎医療福祉大学の総合教育センター教職課程部門が主催し、川崎医療福祉大学の社会連携センターTEACCH Autism Program 共催、川崎医療福祉学会後援のもとで実現しました。シンポジウム開催にあたり、TEACCHに関する貴重なご講演と学校教育への視座をお示しくございました、社会連携センターTEACCH Autism Program、医療福祉学科所属の諏訪利明准教授と小田桐早苗講師にこの場を借りてお礼申し上げます。また、シンポジウム開催にあたり本学に足をお運びくださいました、倉敷市教育委員会学校教育部部长の根岸正治様、指導課特別支援教育推進室長の城井田成美様に感謝申し上げます。

変化の激しい時代の中、医療福祉は「教育」というフィールドで新たな役割を期待されていると日々感じます。医療福祉を極めてきた本学が、TEACCHをはじめとした学問の蓄積を振り返り、その成果を学校教育に生かすことにより、医療・福祉・教育の新たな道を切り拓いていくことができるのではないのでしょうか。本号の刊行が、今後の学校教育、とりわけ初等教科教育の発展に寄与するものと期待いたします。

総合教育センター長 宮川 健

